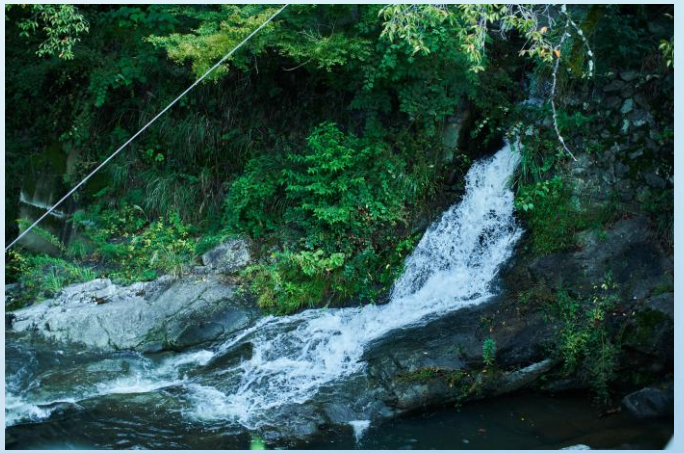
水間門前町2025 水の芸術祭

2025 年9 月 19 日（金）～9 月 23 日（火）

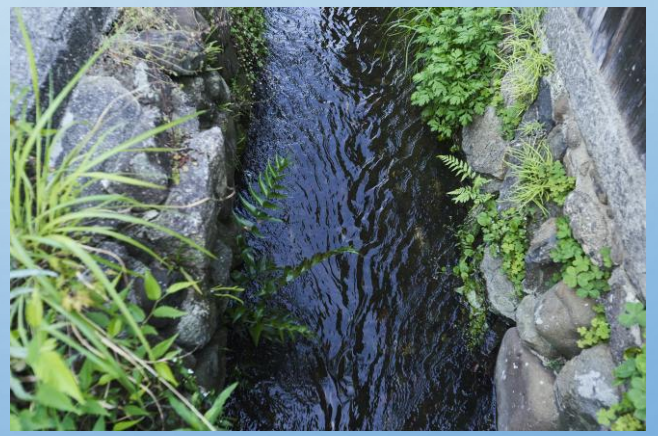
水と水を出会う場所 水間門前町で、水をテーマにアートが出会う。

一般社団法人水間門前町コ・デザイン区

水と水を出会う場所「水間門前町」で、「水」をテーマにアートが出会う。



和泉葛城山を源流とする近木川は、水間門前町で秬谷川と合流し、二色の浜まで流れている。水と水が出会う場所「水間門前町」では、井堰から水を水路に引き込み、貝塚市内の農産物を育てている。そして、人の活動により創られた「井堰」や「水路」は、水間門前町の風景となり、鑑賞的な価値を創出している。



水の芸術祭は、水間門前町で水と水が出会うように、水をテーマとしたアートが集まり出会う場となる。そして、新たな水間門前町の風景を創出する。

水の芸術祭を通じて、水間門前町を含む貝塚市内で地域活性化に取り組む人材が育つことを願って。

事業内容

1. アーティストの募集

(一社)水間門前町コ･デザイン区 | 貝塚コ･デザイン区

水をテーマとしたアートを募集

展示物、体験ワークショップ、飲食物、音楽など幅広く

制作等支援金　10万円/アーティスト

2. 招待アーティスト出展

大阪府立江之子島文化芸術創造センター

提案アーティストによるアート出展

アーティスト名：東　明　さん

村田のぞみ さん　他

3. 水と風のアートイベント（事業者連携イベント）

水間門前町に関係する事業が連携し、水間公園及び水間門前町に1万本の風ぐるまを設置し、フォロジェニックな風景を創る。

4. まちごと万博連携プロジェクト

多様なまちづくり団体が一緒にアート作品を制作し出展する。

展示場所は、水間門前町他、貝塚市内まで全体。

1. アーティスト参加募集

出展日：2025年9月19日（金）～9月23日（火・祝）

場　所：水間門前町（水間門前町の古民家、水間寺境内、水間公園、水間街道、水間観音駅など）

内　容：水をテーマとしたアートを募集します。

展示物、体験ワークショップ、飲食物、音楽など幅広く受け付けます。

費用負担：出展費用は不要

制作等支援金：アート制作に係る実費を最大10万円まで補助します。

ただし、制作支援金対象出展は上限10件まで

募集期間：2025年5月18日（日）～6月18日（水）

2. 招待アーティスト出展

大阪府立江之子島文化芸術創造センターの提案アーティストによるアート出展

アーティスト　村田のぞみ さん

村田 のぞみ | 中之条ビエンナーレ 国際現代芸術祭 NAKANOJO BIENNALE
https://nakanojo-biennale.com/artist/murata-nozomi

村田のぞみは、細いステンレス線で
“空間ドローイング”するアーティストです。
見えていないけれど感じる“何か”を確かめるように、
執拗なまでに、ただひたすらステンレス線を縒り合せ、
空間に描いてゆきます。
瀬戸内国際芸術祭（2019,22）では、
築100年以上の一軒家を使い、
かつての生活の気配を視覚化することを試みました。
「2023年9月から11月にかけて大阪市西淀川区福町でリサーチした土地の記憶を元に、その場所で紡ぎ出された言葉を作品に編み込むような作品」
（作家の言葉）をメインスペースに展開します。

「風景を越えて | Beyond the Landscape」

2. 招待アーティスト出展

大阪府立江之子島文化芸術創造センターの提案アーティスト2名によるアート出展

アーティスト　東　明 さん

Akira Higashi

https://akirahigashi.com/

swell
2005
ブルーシート（ポリエチレン）
撮影：東 明
ブルーシートを数十枚貼り合わせてあるシート状の作品であり、そのシートのどこを切り開いてもハニカムの立体が表れる

nairobi sticks
2011
木
3000w x 3000d x 3500h mm
撮影：東 明
木の棒を使い家具のような鳥の巣のような作品を制作する。ベンチのように座ることができる。

black
2005
布
可変
撮影：東 明
布で出来た動物型のパラシュート作品。上空に投げ上げると空気を孕んで形態が表れ落下する。

3. 水と風のアートイベント(事業者連携イベント)

水間門前町に関係する事業が連携し、水間公園及び水間門前町に1万本の風ぐるまを設置し、フォロジェニックな風景を創る。

連携事業者

水間夢design架け橋、LIGE project、haru食堂＋、吉田ﾌﾗｱﾈﾃﾞｻﾞｲﾝ、旅のさき、九十九、サンジミアーノ

4. まちごと万博連携プロジェクト

水間門前町・せんごくの杜・二色の浜をつなぐプロジェクト

水間門前町の「水の芸術祭」、せんごくの杜の「竹あかり」、二色の浜の「まちごと万博コア会場」とそれぞれの活動がつながることを目的に、活動主体が連携して「竹あかり」を制作し、各会場に展示する。世代と活動を超えて人と人がつながるアート作品制作プロジェクト。

（一社）水間門前町コ・デザイン区、（公社）貝塚青年会議所、せんごくの杜～さくらの里～の連携

地域特性

●地域の基本情報

水間門前町のある貝塚市は、人口82,754人、面積 43.93 ㎢ 主要産業は製造業、関西国際空港近接しアクセスが良好。海から山までの細長い地形を有しており、市内の南北を走るローカル鉄道の水間鉄道が縦走している。

関西国際空港近接であり、空港から鉄道でも車でも15分

●水間寺周辺

奈良時代に聖武天皇の命で行基が創設した厄除けで有名な水間寺、境内には縁結びで有名な恋人の聖地愛染堂がある。

行基ゆかりの「水間寺縁起」、恋愛成就の「お夏清十郎物語」、井原西鶴の「泉州水間利生の銭」といった 歴史的ストーリーが多くある。

水間門前町ではまちづくり法人が古民家を活用したエリアマネジメントに取り組んでいる。

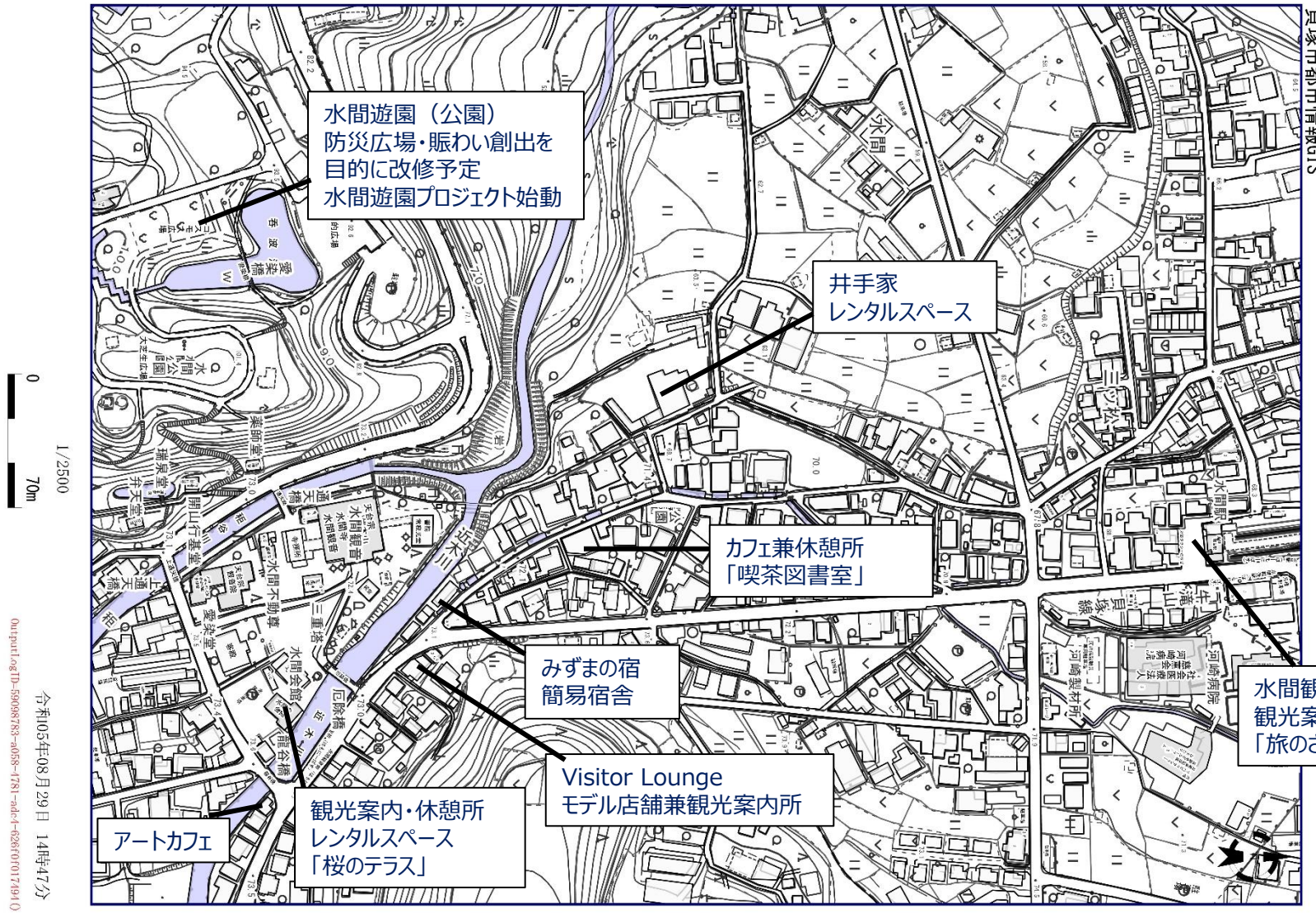
奥水間は、温泉やグランピング施設があり、人気のあるサイクリングコースになっている。

水間鉄道は、開通100周年を迎える地域鉄道、ユーチューバーに紹介され観光資源としても人気

2025年に開通100周年を迎える水間鉄道。鉄道ファンに人気

天平16年に聖武天皇の命を受け、行基が創建した水間寺

水間門前町エリアマップ



水間寺への参拝道、水間寺周辺（木島谷地域）と貝塚寺内町を結ぶ文化・経済交流の要路として活用されてきた水間街道（旧道）は、道標や町石などの残され、古い道並みが残る。特に、水間鉄道の終着駅「水間観音駅」から水間寺までは近木川の澄んだ水が流れる水路が流れ、水間寺も眺めることができる。